



慶應義塾大学ビジネス・スクール

(株) LIXIL グループ

5

— プロ経営者・藤森義明の GE 流リーダーシップ —

最高益を更新予想

10

住宅建材・設備機器メーカー最大手の^{リクシル}(株) LIXIL グループ (以下、LIXIL) は 2014 年 3 月期連結決算で、連結経常利益が従来予想を約 34 億円上回る 749 億円 (前年同期比 41%増) になったと発表した。

住宅着工戸数の増加を背景に新築戸建向けサッシなど建材の販売が好調に推移したほか、消費増税前の駆け込み需要もあり利益率の高いリフォーム向けシステムキッチンやシステムバス、衛生陶器など高価格帯の水回り製品の販売増加が貢献した。また円相場が期中平均で 1ドル = 100 円程度と、想定レート 95 円より円安水準で推移したことも営業外収支の改善につながり、2007 年 3 月期 (675 億円) 以来 7 期ぶりに過去最高益を更新した。売上高は 13% 増の 1 兆 6,286 億円で、純利益は 447 億円と 2.1 倍に拡大した。

15

同時に、2015 年 3 月期は海外事業の拡大を手掛かりに増収増益となる見通しも発表した。傘下のイタリア建材大手ペルマスティリーザの業績が回復するほか、2013 年 8 月に買収した米住宅設備大手アメリカンスタンダード・ブランドが通期で寄与し、2014 年 1 月に持ち分法適用会社になった独水栓金具大手グローエの貢献も見込む。国内住設事業は消費税駆け込み需要の反動で振るわないが、傘下の海外企業で補う見込みである。

20

有価証券報告書には、1 億円を超える役員報酬が開示されている。同社 2014 年 3 月期版によれば「潮田洋一郎 基本報酬 120 + ストックオプション 114 = 計 234 百万円」、「藤森義明 基本報酬 150 + 業績連動報酬 70 + ストックオプション 114 = 計 334 百万円」となっていた。藤森の報酬は、日産自動車カルロス・ゴーン社長 (995 百万円) には遠く及ばないものの、トヨタ自動車豊田章夫社長 (230 百万円) を超える金額となった。

25

本ケースは早稲田大学ビジネス・スクール教授・山根 節の指導の下で廣瀬 博 (KBS・MBA33 期) が、公表資料によってクラス討議の資料とするために作成した。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクール (以下 KBS) が出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は KBS (〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。KBS の許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 廣瀬 博・山根 節 (2014 年 7 月)